

令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）のポイント

1 事業計画（案）のポイント

- 観光情報総合サイト「いわての旅」やSNSを活用し、国内外で話題の盛岡を足がかりに、周辺や県内の観光スポットにも関心が広がるよう、改めてその魅力の発信に取り組む。
- 観光客誘致説明会・教育旅行誘致説明会を、引き続き対面で東京都や大阪市など大都市圏で開催する。また、それ以外の地域を補完するオンライン商談会も開催する。
- 国際観光については、県や関係機関と連携して、台湾や韓国などに向けて情報発信やオンラインを含めた商談会の開催・支援に取り組む。
- 観光人材の育成については、実施済みの英語版に引き続き、台湾、中国人対応の接客研修会を開催し、外国人観光客のおもてなし向上に取り組む。
- 協会が将来的に観光庁の登録DMO（観光地域づくり法人）となることを視野に、観光データプラットフォームを活用したデータ分析の還元や応用、また独自にデータ分析ができる人材の育成と観光地域づくりの支援を行う。

2 収支予算（案）のポイント

- 会費について、令和2年度以降、第二種・第三種賛助会員はそれぞれ3割・5割を免除しているが、コロナ感染症5類見直しなどを踏まえ、令和5年度は第二種・第三種賛助会員ともに会費の2割5分を免除することとさせていただく。（ご負担が増えますが、ご理解とご協力をお願いします。）
（減免相当分は、協会の不測の事態に備える法人運営準備金を取り崩して対応するもの）
- 支出については、光熱水料費の増加などで管理費が増加となるが、引き続き節減や効率化に努めながら、メリハリを付けて効果的に事業を実施する。

※会員様毎の令和5年度の会費は12ページから一覧でお示ししていること。